

# 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。  
 健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。  
謹白

## 記

■ 実施日 2021年9月6日(月) ご依頼分より

## ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OE20 2	SCCA2 5C250-0000-023-023	血清 0.5	S09 ↓ A00 (X)	凍結 (30日)	11~23	①② 300 ※6	ELISA	参考基準範囲 1.6 未満 軽症 1.6以上 2.6未満 中等症 2.6以上 6.0未満 重症 6.0以上 (ng/mL)	<span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">重</span> 下記参照 &A

※6：免疫学的検査判断料

- ① 15歳以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として、月1回を限度として算定する。
- ② 「TARC」と「SCCA2」を同一月に併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

### <注意事項>

他項目との重複依頼は避けてください。

唾液・フケ・皮膚(表皮)・毛髪・爪などの混入により高値傾向を示す場合がありますので、検体の取り扱いには充分にご注意ください。



## ● SCCA2

アトピー性皮膚炎の診断と重症化予測に有用なマーカーです。

SCCA2は、serpinスーパーファミリーに属するセリンプロテアーゼインヒビターであり、主に上皮細胞から産生されるタンパク質です。アレルギー性の炎症に関わるTh2サイトカインの一つであるIL-4およびIL-13で気道上皮細胞を刺激した際に発現が上昇するタンパク質として同定されました。

小児アトピー性皮膚炎患者におけるSCCA2値は、その重症度に応じて有意に上昇していることが報告されています。本項目は、小児アトピー性皮膚炎の重症度の指標として有用なマーカーであることが示唆されています。

### ▼疾患との関連

小児アトピー性皮膚炎

### ▼検査要項

検査項目名	SCCA2
項目コード	OE20 2
検体量	血清 0.5 mL
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	凍結保存してください
所要日数	11～23 日
検査方法	ELISA
基準値	参考基準範囲 1.6 未満 軽症 1.6以上 2.6未満 中等症 2.6以上 6.0未満 重症 6.0以上 (ng/mL)
報告範囲(単位)	0.3ng/mL未満 0.3～999999.9 (ng/mL)
桁数	有効 7桁、整数 6桁、小数 1桁
検査実施料	300点* (「DO14」自己抗体検査「35」)
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
備考	<b>重</b> 他項目との重複依頼は避けてください。 唾液・フケ・皮膚(表皮)・毛髪・爪などの混入により高値傾向を示す場合がありますので、検体の取り扱いには充分にご注意ください。 &H

\*15歳以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として、ELISA法により血清中のSCCA2量を測定した場合は、本区分の「35」抗デスマグレイン1抗体の所定点数を準用して、月1回を限度として算定する。ただし、本検査及び区分番号「DO15」血漿蛋白免疫学的検査の「18」TARCを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

### ●参考文献

Nagao M, et al : J Allergy Clin Immunol 141 (5) : 1934～1936, 2018. (臨床的意義参考文献)